

野川サイクリング道路における舗装の損傷について

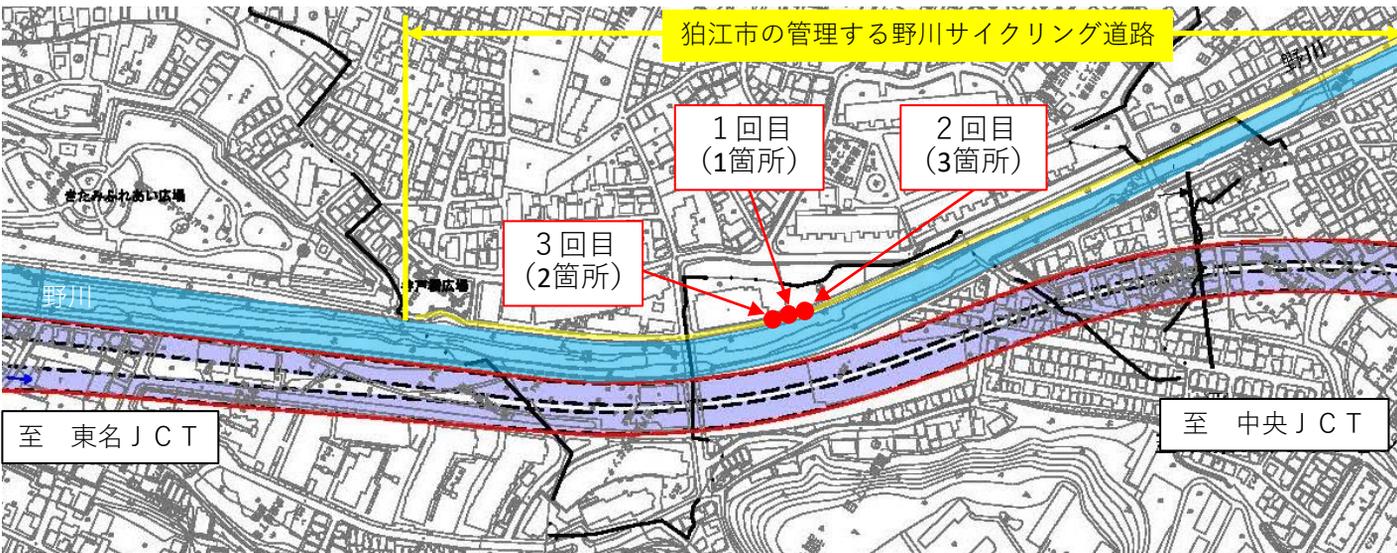
令和5年8月～10月にかけて、調布市入間町の野川サイクリング道路（管理者：狛江市）において、外環事業にて実施している掘進完了区間の巡回監視を行った際に、舗装の損傷（大きさ約10cm）を確認しました。野川サイクリング道路をご利用される皆さまの安全を第一に考え、砕石、砂や常温合材で応急復旧を行いました。

また、当該サイクリング道路の管理者への連絡が遅れ、情報共有がなされていませんでした。今後は引き続き安全を優先するとともに、管理者との連絡を密に行ってまいります。

なお、当該区間のシールド掘進は、令和2年7月に完了しており、これまでの調査結果等からも今回の舗装の損傷が、シールド掘進による影響である可能性は低いことを有識者に確認しております。

今後、舗装の損傷の発生原因調査については、必要に応じて協力してまいります。

< 損傷確認箇所図 >



< 損傷確認箇所の状況 >

1回目		2回目		3回目	
損傷確認日：R5.8.1		損傷確認日：R5.9.12		損傷確認日：R5.10.3	
応急復旧日：R5.8.2		応急復旧日：R5.9.13		応急復旧日：R5.10.3	
損傷箇所数：1箇所		損傷箇所数：3箇所		損傷箇所数：2箇所	
損傷の程度：大きさ 10cm程度 深さ 20cm程度		損傷の程度：大きさ 10cm程度 深さ 20cm程度		損傷の程度：大きさ 5cm程度 深さ 20cm程度	

1回目		2回目		3回目	
応急復旧前	応急復旧後	応急復旧前	応急復旧後	応急復旧前	応急復旧後

